Creative Enzymes®

カルボキシペプチダーゼ-B ラット、再組換え

Cat. No. NATE-0153

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カルボキシペプチダーゼB（またはペプチジル-L-リジン（-L-アルギニン）ヒドロラーゼ）は、ポリペプチドのC末端位置から基本アミノ酸であるリジン、アルギニン、オルニチンの加水分解を触媒します。これは34 kDaの単一ポリペプチドであることが示されています。トリプシンは、天然酵素を活性酵素であるカルボキシペプチダーゼB IIにin vitroで□換することができます。最適pHは9.0であることがわかっています。この酵素は、C末端の基本アミノ酸を連続的に切断することによる配列解析に使用される場合があります。また、急性膵炎の診断のための血清マーカーとしても使用できます。
用途	カルボキシペプチダーゼB（EC 3.4.17.2、プロタミナーゼ、膵臓カルボキシペプチダーゼB、組織カルボキシペプチダーゼB、ペプチジル-L-リジン [L-アルギニン]ヒドロラーゼ）は、アルギニンやリジンなどの塩基性アミノ酸に優先的に作用するカルボキシペプチダーゼです。この血清酵素は、C5aタンパク質をC5aデス-アルギニンに迅速に代謝する役割も担っており、アミノ酸が1つ少なくなります。
別名	カルボキシペプチダーゼB; プロタミナーゼ; CPB1; 膵臓カルボキシペプチダーゼB; 組織カルボキシペプチダーゼB; ペプチジル-L-リジン [L-アルギニン]ヒドロラーゼ; EC 3.4.17.2; 9025-24-5

製品情報

種	ラット
由来	E. coli
形態	20 mM Tris、pH 8.0 + 50 mM NaClから凍結乾燥されました。
EC番号	EC 3.4.17.2
CAS登□番号	9025-24-5
活性	50-55 ユニット/mg タンパク質カルボキシペプチダーゼB
代謝□路	補体および凝固カスケード、特定の生物のバイオシステム；補体および凝固カスケード、保存されたバイオシステム；タンパク質の消化と吸収、特定の生物のバイオシステム
機能	カルボキシペプチダーゼ活性; メタロカルボキシペプチダーゼ活性; 亜鉛イオン結合

保管・発送情報

保存方法	−20°C